

由布市教育委員の皆さまへ

湯布院町住民 谷 千鶴

委員の皆さまには、市民の暮らしのためにご活躍いただき、感謝しています。

私は湯布院だから……という言い訳になりますが、挟間の場外舟券売り場のことを詳しく知ろうとしなかったことを悔いています。

360日、9時から21時までオープン、1日1000台！！驚きました。そんな規模だとは。

先日、大分インターから現地に行く道を通ってみました。道を尋ねた老夫婦が「今でもダンプがばんばん通る。さらにボートピアができれば、高崎の住民の暮らしはどうなるか……」と心配されていました。

大分市では、駅前通りのミニボートピアの話に、青少年健全育成協議会がまとまって声を上げ、議会採決前に業者が取り下げて、終わりました。方や、由布市では、十分な情報提供や幅広い議論がないまま、決められていこうとしています。

子どもたちが、由布市の大人たちのこういう姿をどう受け止めるのか……私は気ががりでなりません。地域振興や学校施設充実が、ギャンブルに頼ったお金で賄われて、子どもや親が本心で嬉しいでしょうか？

3月、由布市議会は、地元賛成派の陳情を採択しました。反対の陳情は、石城小学校・挟間中学校の保護者有志からです。青少年健全育成協議会でもPTAでもありません。そういう所で、話題になって話し合われて、それで意思表示がなかったのでしょうか？

市の検討会の議事録を取り寄せました。まともに車が通過する高崎地区は、ボートピアの「地元」に含まれていません。視察は、市街地に立地する1ヵ所のみです。担当課に尋ねたら、業者から具体的な計画はあがってないとのこと。それでどうして売り上げの1%2800万円とか、大村市の嘱託雇用とか、あてにできるのでしょうか？

NET検索すると、市街地の小規模な売り場は繁盛しているようですが、市街地から遠い売り場は目論んだほど客が来なくて苦しい経営をしているようです。中高生の出入りもあるようです。

反対だ！賛成だ！と対立する前に、情報収集や幅広い議論がもっとも必要なのではないでしょうか？ そういう過程を経て、私たち市民、そして子どもたちが、ともに、生き方や世の中の仕組みや地域自治を学んでいけるのだと思います。

教育委員会の委員の皆さんは、議会からも行政からも独立して、学校教育・社会教育を受け持っていてほしいです。あわてて結論を出すのではなく、由布市の重要課題として官民が一緒になってしっかり学習して、それからどうするか決めることを、提起していただきたいのです。

どうぞ、よろしく申し上げます。